

第一小学校 5 年生 海洋体験学習

平成 29 年 07 月 23 日

- 日 付：平成 29 年 7 月 14 日（金）
- 時 間：7：45～12：00
- 場 所：南駿河湾漁業協同組合、温水利用研究センター
- 参加者：第一小学校 5 年生（児童 99 名、教員 4 名 計 103 名）
- スタッフ：松下、川口

他 3 名(南駿河湾漁業協同組合職員 1 名、温水利用研究センター職員 2 名)

第一小学校 5 年生は白羽小学校の取り組みと同様に、社会科の授業の一環として『漁業から学ぶ御前崎の海』と言うテーマの基、活動を行いました。



第一小学校は海から遠く離れている学校ということもあり、活動時間を調整して活動を行いました。その為、今回はシラスの競りから見学をさせて頂きました。

今年はシラスの成長が早いため、この日は少ない水揚げとなりました。そんな貴重なシラスの競りを見学させていただき、シラス 1 カゴ 60,000 円程で競り落とされたことを聞き、子ども達は驚いた様子でした。



シラスの競りを見学した後は、定置網で獲れた魚介類の競りの見学をさせて頂きました。魚市場の様子や競りの様子を初めて見る子ども達が多く、みんな真剣な様子で見学をしていました。競りの見学後は、漁協の施設見学をさせて頂きました。



恒例となってきた冷蔵庫の見学をさせて頂きました。-30℃の寒さを体験しつつも、冷蔵庫内で保管されているチリメン干しやカツヲも見学をさせて頂きました。



見学後は室内に移動し、御前崎の漁業の特徴や漁の仕方についてお話を聞かせていただきました。今回もお土産としてチリメン干しを頂き、学校で試食をさせて頂きました。



漁協での活動を終了後は、温水利用研究センターへと場所を移し、養殖・種苗生産の現場を見学させていただきました。生徒数が100人ほどということもあり、今回は2グループに分かれローテーションで活動を行いました。

室内では、温水利用研究センターの取り組みや種苗生産、養殖の必要性について、スライドを観ながらお話を伺いました。



施設見学では最初に、餌となるプランクトンやアワビの稚貝を見せて頂きました。



大きな水槽で飼育される親の魚やガザミの親ガニを見せて頂きました。



最後は、クルマエビの幼生やマダイ・トラフグの幼魚を見せて頂きました。